

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	8	学校名	静岡県立沼津特別支援学校愛鷹分校	校長名	青木 暁乃
------	---	-----	------------------	-----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共に育てる 自立と輝き ～生徒の能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～

- ・働くことへの夢と喜びを見出し、意欲を育て、実現に向かって前向きに進むことができること
- ・高等学校や地域と連携・協働しながら共生社会の実現を進めること
- ・誰もが互いに尊重し合い、互いの命を大切にし、安全に安心して過ごすこと
- ・教職員にとって、健康で、安全に、仕事にやりがいをもてる、働きやすいこと

(2) 目標具現化の柱

ア 人権尊重、命を守る教育の**理念**に基づいた、生徒が安全に安心して学習できる学校（安全）

イ 生徒理解と**生徒のニーズ**に基づき、将来を見据えた支援及び指導ができる学校（専門）

ウ 保護者、地域、関係諸機関等との連携に基づいた、共生社会の実現を目指す学校（連携）

エ アサーティブな関わりに基づいた、チームとしてやりがいを持つ学校（チーム）

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
安全	人権に配慮した指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・人と関わるときに、大切にしたい態度、言葉遣いの徹底。 ・生徒が、自分の事としてとらえることができる道徳の授業の実践。 ・学校内外で、人との関わりについて考える機会の設定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、相手の人権を尊重した対応を日々行っている。 ・保護者が、児童生徒の人権が尊重されていると感じている。 ・生徒が、安心して学校生活を送ることができている。 	生徒指導 教務
	自らの命を守る体制の整備と、実践力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルを生かし、生活に即した防災訓練、緊急体制訓練の実施。 ・積み重ねを考え、生活に生かせる防災学習の実施。 ・生命（いのち）の安全教育の指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発災、緊急時に自分の対応を理解し、行動できる。 ・安全を意識した行動をとることができるような指導を行っている。 ・生命（いのち）の安全教育の考え方を知り、行動している。 	生徒指導 教務 保健体育
専門	自己理解を深め、主体的に取り組む学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が参画する、個別の教育支援計画の立案。 ・自己理解を深めるための系統性をもった学習の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員が、保護者や生徒と共に将来の姿を考え、自立活動の目標と達成方法を伝えている。 ・生徒の自己理解が深まっている。 	研修・自立 進路指導
	将来を見据えた支援と指導の実践	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の生活を見通し、生徒自身主体的に取り組む職業・作業学習の実施。 ・将来活用できる内容を取り入れているICTを使った授業の実践。 ・研修履歴記録シートを活用した教員研修の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自分の力をつけたいと思う授業へ、主体的に取り組んでいる。 ・生徒が、授業でICT機器を活用できている。 ・職員が、積み重ねた学びを基に新たな学びに取り組んでいる。 	研修・自立 進路指導 情報
連携	生徒の自立と輝きに向けた地域や関係機関との協働の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会による学校応援体制の充実。 ・目標を達成するワーク地域の実施。 ・適切な時期と必要な参加者による、ケース会議の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と保護者が学校運営協議会の具体的な支援を理解している。 ・生徒が、ワーク地域に積極的に取り組んでいる。 ・ケース会議後、今後の方針と役割分担が明確になっている。 	進路指導 管理職
	地域とのつながりの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・相互理解を深める沼津城北高校との共同学習の実施。 ・センター的機能の活性化。共生社会推進を意識した働きかけの充実。 ・積極的に計画的な広報、発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インクルーシブが、進んでいる場面や行っている内容を職員が説明できる。 ・各交流の成果を、城北高職員や保護者、地域が理解している。 	学部 特別支援 コーディネーター
チーム	働きがいのある職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・アサーションの考え方を活用した学校学年経営。 ・ウェルビーイングな職場にするための定期的な研修実施。 ・事務執行状況の情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が、学年経営や学校行事に積極的に参画している。 ・職員が事務室からの伝達に必ず目を通して、学校運営がスムーズに行われている。 	学部 管理職